

## 第6回安平町新しい学校を考える会議事録

○日時：令和2年1月17日 18時30分～20時

○場所：安平町役場総合庁舎2階大会議室

○出席者：参加者10名 教育委員会4名 建設課1名 教育環境研究所1名 アトリエブ  
ンク2名 チームラボ1名

### ■開会

教育次長：昨年から皆さんのご協力をいただいて設計を進めてきた。設計は3月までに完成させなければならず、時間が限られている。また皆さんのご意見等いただければ。

#### 1 これまでの経緯の確認

井内専門員：12月末の教育委員会で早来小との一体型校舎で小中一貫教育を進めていくことが決定した。校舎の建設にあたっては良い校舎を建てたいと思うが、町の復旧に係る予算もあり当初からコンパクトな作りとなっている。その中で地域の方や教職員からの意見をいただき現時点の設計案となっている。

また現時点の案について、アトリエブंकより本日皆様に説明をさせていただく。そのうえで改善点等について皆様より意見を伺いたい。ただし現設計案から体育館を大きくずらしたり、教室の配置を一から変えるということは難しいためその辺のご理解をいただきたい。また、学校の周りの使い方について中学生も参加しているため部活動の使用も考慮してご意見いただければ。

#### 2 現設計案の説明

アトリエブंक：面積としてはコンパクトになっているが建物の中身自体は充実させている。

(※学校の現設計案について説明)今日はグラウンドについてもどのような部活が使用する、あるいはこの内容で良いのかなどご意見を伺いたい。

#### 3 ワークショップ

設計案、模型等を確認し現設計案についてワークショップ形式による意見要望の抽出を行った。その後、参加者より意見要望の発表を行った。抽出意見は別添「意見一覧」のとおり。

#### 4 ワークショップでの意見を受けて設計業者からの意見

アトリエブंक：皆さんの意見を受けより充実したものを作って行きたい。

もう少し大きな模型を作成するなどして本当にこれが良いのか確かめながら、更には、これは基本設計というもので本設計はまだ先なのでこの先も皆様の意見をいただければ良い建築ができると思いますのでよろしくお願ひしたい。

チームラボ：皆さんの意見を聞いて良い方向性だと思う感想があるが、イメージがつかないという感想もあり、不安の裏返しということもあると思う。イメージがつかないということは、見たことが無いから。今は、新しいもの、これからの未来に必要な見たことのないようなものを作るということにチャレンジしている。これがどんな空間になるのかだとか、簡単に想像できないというのはそれだけ新しいことにチャレンジしているという証拠なのではと思う。学校建築としてもこういう作り方はこれまでにない。チームラボとしては、教室等の空間が決まってきたので ICT 空間においてどのように共同作業できるかということ詰めていくこととなるので皆さんと一緒に考えていければと思う。

次回考える会 2月予定（方向性の報告、学校における教育内容について）